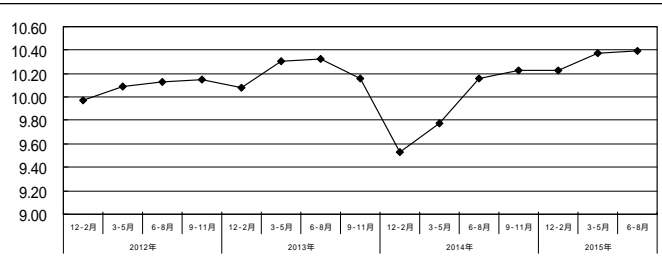


米 記録的な豚飼育頭数と子豚生産頭数～ERS～

雌豚1頭当たりの子豚生産頭数推移



9月25日に発表された「季刊豚レポート」（10月12日号3Pに掲載）は、米の豚肉業界は2014年の豚肉生産に打撃を与えた豚流行性下痢（PED）を乗り越えて動き出していることを証明していると農務省の経済調査局（ERS）。

総飼育頭数は4%増の6千840万頭で、1988年以降の最多に。子取り用も1%増となり、飼育頭数増が続いている。また、雌豚1頭当たりの子豚生産頭数も記録的な数値となっている。

米 中国で豚肉輸入シェアをEUに奪われる～ERS～

農務省の経済調査局（ERS）によると、8月の豚肉輸出は6.5%増の16万9千ト。メキシコへの輸出は15%増、対日は4%増、中国/香港は22%増、対韓は12%増で、輸出拡大の要因となった。

8月、中国/香港への輸出は1万3千トとなり、前年を上回っているが、これまでのところ精彩を欠いている。

1-8月、米産豚肉の中国/香港への輸出は35%減だが、中国の輸入データによると、1-8月の豚肉輸入は16%増。それではどの国が米の豚肉輸入シェアを奪っているのか？ 2014年1-8月、

米 スミスフィールド・フーズ、15年第2四半期は純益、売上げともに減

豚パッカー最大手、2015年全米パッカー売上げランキング第4位で、「ショワンホイ・インターナショナル・ホールディングス」の子会社スミスフィールド・フーズ（ヴァージニア州スミスフィールド）、2015年第2四半期（15年4-6月）の純益は27%減の1億402万ドル（1USD、120円

この結果、農務省は2016年の豚肉生産予測を約10万ト引き上げ、前年比1.4%増の113万4千トとした。

PEDが劇的に拡大する以前、2013年の子取り用は平均で584万頭。2012年12月、2015年3月、6月、9月は平均596万頭で、2013年比12万頭も多い。

9月の子取り用の飼育頭数も2008年以降の最多となっている。

6-8月の雌豚1頭当たりの子豚生産頭数は10.39頭で、これまで最多だった3-5月の10.37頭を上回った。

多くのコーンベルト地帯での分娩雌飼育頭数は常に米の平均を上回り続けており、雌豚1頭当たりの子豚生産頭数は今後も増加し続け、これが2016年の豚肉生産増予測の背景となっている。

EUが中国の豚肉輸入の62%を占めており、米は24%でしかない。2015年1-8月はEUのシェアは73%で前年比11ポイント増。米は17%で、7ポイントの減。カナダもEUにシェアを奪われている。バイヤーが購入を決定する際には多くのファクターがあるが、価格が最大の要因となる場合がある。米ドルとユーロの為替変動により、EU産豚肉は中国のバイヤーにとっては廉価だった。さらに中国は米処理工場の多くをラクトパミン残留問題で禁輸としており、これからも米産豚肉の対中輸出を阻む要因となりそうだ。

換算で125億円）。売上げは9%減の34億8千660万ドル（4千183億9千万円）。フレッシュ・ポークと豚生産の利益減が響いた。

また、1-6月の純益も19%減の2億120万ドル（241億4千万円）。売上げは2%減の71億310万ドル（8千523億7千万円）。

米 フィードロット飼育牛の価格安、続く～ERS～

農務省の経済調査局（ERS）によると、2015年の前半は、牧草の状態も良く、降雨もあったため、生産者は通常よりも長期間に渡り放牧させることができた。このため、放牧牛の多くはかなり重量増となってフィードロットへと搬入された。しかし、冬小麦の収穫が遅れた場合、南部草原地帯では飼料供給が限られる可能性がある。こうなった場合、搬入される生体は若齢で、軽量となり、搬入される素牛の重量も軽量化するかもしれない。軽量のまま搬入されると、2016年に出荷されるフィードロット飼育牛も軽量で、枝肉重量も軽くなる可能性がある。

2015年のフィードロット搬入は4月と7月を除き前年を下回り続けている。

8月は5%減の163万2千頭で、1996年以降、8月としては最少。搬入頭数が少ないのは、生産

者が放牧飼育の期間を長引かせ、重量化しており、フィードロット経営者は高い価格を支払うのをためらっているため。

搬入と同様に、8月の出荷頭数も1996年以降、8月としては最少の158万8千頭で、前年比6%減。

飼育業者は廉価で売る意思はなく、価格の上昇を期待して、留保しているのかもしれない。

フィードロット飼育牛の価格下落で、農務省は第3四半期のフィードロット飼育牛価格を100ポンド当たり144.22ドル（1USD、120円換算で $\text{円} \approx 382$ 円）に引き下げた。前年比では14ドル安。また、第4四半期の価格も100ポンド当たり129-135ドル（ $\text{円} \approx 341$ -357円）に修正している。

2016年に入っても安値が続き、平均100ポンド当たり131-141ドル（ $\text{円} \approx 347$ -373円）で推移する見通し。